

12月3日(土)の古ケ崎小学校区避難所開設訓練にご参加・ご協力頂きまして、誠にありがとうございました。お陰様で、沢山のご感想やご意見をいただき、今後の課題も明確になりました。以下、今回ご参加頂いた方々のアンケートの集計結果と共に、それぞれの質問項目について考察を致しましたので、町民の皆様にも是非ご一読いただき、次回の避難所開設訓練へのさらなるご協力をお願い致します。

なお、「古ケ崎小学校避難所開設・運営マニュアル」及び「本アンケート集計結果報告」を古ケ崎小学校ホームページに掲載致しましたので、そちらも併せてご覧頂ければ、今後の避難所訓練のために、よりご理解・ご協力を頂けるものと存じます。

また、アンケートのご感想・ご意見の中に、このマニュアルをご覧頂ければ、ご理解頂ける内容もありましたので、省略させて頂きました。さらに、文言は違っても、同様の意見をまとめて表記いたしましたので、ご理解の程よろしくお願い致します。

※246枚回収、( )内の数字は回答者総数に対する割合%です。

### 1. お住まいの町会を教えてください。

<input type="checkbox"/> 栄町3丁目	53 (21.5)	<input type="checkbox"/> 栄町4丁目	53 (21.5)
<input type="checkbox"/> 栄町5丁目	28 (11.4)	<input type="checkbox"/> 栄町6丁目	60 (24.4)
<input type="checkbox"/> 坂川町会	26 (10.6)	<input type="checkbox"/> 古新第3町会	26 (10.6)

- 参加者実数(当初の参加予定者数)合計: 391 (451人)
  - 栄町3丁目 79人 (10.9人)
  - 栄町4丁目 89人 (9.9人)
  - 栄町5丁目 51人 (5.0人)
  - 栄町6丁目 94人 (12.5人)
  - 坂川町会 38人 (2.0人)
  - 古新田第3 40人 (4.8人)
- 古ケ崎小に避難する6町会の世帯総数は約4,000世帯、人口は約1万人ですが、今回の訓練への参加者数を200人を超えればよいと考えておりました(市内の他地域では、避難所訓練に200人も集まらないのが現状)が、その倍近くも集まっていたことから、この地域の危機意識の高さを痛感いたしました。

### 2. 今回初めての避難所開設訓練、必要性や意義はあると思いますか？

<input type="checkbox"/> 大変意義がある	174 (75.3)
<input type="checkbox"/> あまり意義はない	11 (4.8)
<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	46 (19.9)

- 古ケ崎地区の避難所訓練の必要性については、3年前から町会長・各町会防災担当・民生委員・学校関係者と共に議論し、町会ごとの避難所の区割りが決まるまで2年かかりました。特にこの地区は、大地震への備えだけでなく、風水害時の避難所開設も必要であることから、避難所訓練を早急に実施しなければならないということで、今回の「避難所開設訓練」に向けて前述のメンバーで準備し、実施に至りました。
- 今回の避難所開設訓練の目的は、
  - ①避難する町会と連携し、避難者を想定した住民を安全に古ケ崎小に誘導する。
  - ②避難所運営に係る役割分担や組織の活動内容を実践を通して訓練する。
  - ③避難者の受付の流れを実践し、避難時の心構えを地域住民に周知する。
 の3点に絞り実施しました。
- アンケート結果からも分かるように、75%以上の方がこの訓練の意義を実感して頂いている事に、今後の避難所訓練の必要性をあらためて痛感いたしました。
- 「どちらとも言えない」「あまり意義がない」のご意見には、受付までの時間がかかりすぎたことや、避難者カードの書き方が分からない、避難者への説明が不十分など、避難所を運営する側の問題と考えます。しかし、これもまた、今回の訓練を通して見えてきた問題点であり、今後の訓練で改善すべき課題と捉えさせて頂きます。

### 3. 訓練中の役割を教えてください。

<input type="checkbox"/> 避難者側	189 (90.4)
<input type="checkbox"/> 運営側	20 (9.6)

- このアンケートは、あくまでも参加者の感想やご意見をお伺いするもので、この集計

結果を、次回の避難所訓練に生かしたいと考えております。

- ・運営側の反省については、別途「活動班反省用紙」を配布し、その結果を集計し、次回の避難所開設準備委員会の議題の一つにいたします。

#### 4. 今回の避難所開設訓練全般の評価を教えてください。

<input type="checkbox"/> 良かった	84 (41.0)
<input type="checkbox"/> 悪かった	18 (8.8)
<input type="checkbox"/> どちらとも言えない	103 (50.2)

- 各町会だけでなく、6町会（古ヶ小地区）で、広域的な避難訓練をしたというだけでも良かった。繰り返しが必要。避難する時の流れが分かった。（ペットなども）7
- 実際に近い訓練で、避難する時の感覚が分かった。4
- 初めての訓練にしては、皆さん協力して出来ていたと思う。3
- 何回もやれば、もっと良くなると思う。2
- 体育館に入る手順が分かって良かった。
- 皆さんの意識が高いことが分かって良かった。
- 出来ないことや必要なことを洗い出すきっかけになった。
- 実際に何がよいかなど、考える時間が出来た。
- 大勢で行動することの大変さを実感できた。
- 避難スペースが小さいことが分かったこと。
- 備蓄のことや避難時に用意すべきものなど、どうすべきかを考える良い機会になった。
- 体育館の段ボールは、寒さをしのげたので、非常に助かりました。
- 各町会ごとに行動されていたので、大きなゴタゴタがなかった。
- 運営側の役割分担が出来ていて良かった。

△校庭での内容説明がよく聞こえなかった。（朝礼台などを使用し、話し手の顔が見えると良い）（説明がわかりにくい）（配付物をもらい損ねた）16

△役員自身の動き方がよく分かっていないようで、私たちに事があまり良く伝わらないような気がした。リーダーシップがなかった。（指示もまちまち）（スピーディーに）11

△事前に、ある程度説明があった方が良い。（段取りが分かるように）（高齢者にも分かるように集まる前に解説）。（回覧板でプリント配布）8

△受付の時間がかかる。全体的に（立ったままの待ち）時間が長い。5

△入り口を2カ所にして、受け付け事務がスムーズになるようにしてほしい。町会の受付は少し離さないで混雑していた。3

△プリント配布等、不明が多かった。名簿の書き方がわかりにくい。（一つにまとめて）3

△ボランティアをしてみたが、具体的にどう動いたら良いか分からなかった。

△訓練とはいえ、筆記用具準備くらい指示があった方が良かったと思います。

△以前住んでいたところは、運営さんがしっかりされていたので、避難訓練も毎年あり、参加者も多く、皆さん協力的でスムーズだった。この地区の方は、人ごとのように感じました。

△本番を想定しているとは思えなかった。ばらばらに動く、ということを前提とした避難計画を検討した方が良くと思った。

△訓練には、もっと緊張感と迅速性が必要。

△町会内でも古ヶ崎中に避難する所があり、自分の属している所がはっきり分らない。

・今回は、第一次避難を町会ごとに一時避難場所を決め、そこで集合・点呼した後、第二次避難所（古ヶ崎小学校）へ移動。6町会が古ヶ崎小の校庭に集合完了後、本日の目的説明をし、避難者受け付けを開始するものでした。

・各町会が整然と列をなして古ヶ崎小に向かってくる姿を拝見し、町会の結束力の強さを感じました。また、町会内でも班ごとのまとまりがあったり、ヘルメットをそろえて準備してくるなど、非常時の行動力にも驚きと頼もしさを痛感しました。

・校庭では、400人近くの方がいらっしやる中で、拡声器やアンプ等の簡易の放送機材では不十分であることが分かりました。反面、非常災害本番で学校職員がいない時には、避難所開設箱に入っている拡声器のみの対応になってしまうことをご理解頂きたいと思います。また、リーダーが話をする時は、朝礼台を活用することは可能です。

・避難所開設準備委員会では、今回の開設訓練を行うに当たって、土曜日の午前中4回集合を持って準備してきました。しかし、役員の指示系統や各活動班の活動内容細部のすりあわせなどが不十分であったことは否めません。準備委員会の前の役員会（会長副会長+活動班班長）を設けることで、それらの課題の解消を図りたいと考えています。

・避難所訓練のお知らせでは、訓練の概要をお知らせ致しましたが、あまり詳しくしすぎても訓練になりません。次回は、訓練の流れをタイムテーブルの形でお知らせできればと考えます。

- ・避難者受付準備や体育館の避難スペース準備など、思いの外手間取ってしまい、避難協力された方々に大変ご迷惑をおかけいたしました。避難者カードや避難者名簿のあり方、各種受付のあり方等、よりスピーディーな受付が出来るよう改善していきたいと思います。また、体育館のスペース準備についても、今回の経験を生かし、より早く丁寧に準備できるよう分担していきたいと思います。
- ・これ以外にも、様々なご意見を頂きましたが、今後の訓練の参考にさせていただきます。

## 5. 次回も実施するとしたら、どのような内容の訓練が良いですか？

- 今回の内容でもう一度やり、改善していくことが大事。15
  - 定期的に（月1回とか3ヶ月に1回とか）何度もやって慣れるようにしてほしい。5
  - 仮設トイレの設置やテントの組み立てなど。（防寒対策）3
  - 炊き出しも行い、参加人数を増やし、広く告知した方がよい。2
  - 病人の対処の仕方や避難スペースなども入れて考えることも大切。（車いす）2
  - 夏の暑い時等、条件が悪い時にする等、最悪のシミュレーションをして行ってほしい。2
  - 避難に来た人が、初めに何の受付と、はっきり分かるよう看板等明示した訓練。2
  - 町会ごとに詳しく説明してから始める訓練。2
  - 高齢者対策のため、各班長の伝達は密に、こまめに伝える訓練。2
  - 助け合うことを伝える訓練。もっと緊張感を持てる訓練。2
  - 救命救急訓練やトリアージ訓練（けが人の治療優先順位を決めた訓練）とルール作り。
  - 高い場所に避難する（水害が気になるので）訓練。
  - 避難生活になった時に、一人あたりのスペースがどれ位になるか実感できる体験。
  - 避難するときに持っているといいものや各自で出来ること、非常袋に用意しておいた方がよいものなど教えてほしい。
  - 避難する側も、けが人や支援の必要な人、ペットを持参する人等、役目を決めた訓練。
  - 開設訓練を、事前に担当する人達だけで行い、しっかりとマニュアル化できるようにする。2
- ・12月10日（土）に第5回準備委員会を開き、反省会を行いました。このアンケート結果のように、いろいろな意見が出ましたが、今回の経験を生かすべく、来年度も是非避難所訓練を実施しようという事に決まりました。（11月中旬に予定）そのため、7月には第1回目の会議を持ち、9月以降に具体的な準備を進めることになりました。内容については、今回のアンケート結果や準備委員の反省用紙集計結果をもとに7月には方向性を決め、10月初めには町民の皆様にお知らせいたしますので、是非今後ともご理解・ご協力頂きますようお願い致します。

## 6. 実際に避難する時は、居住スペース以外の場所を希望しますか？

- |                                     |            |
|-------------------------------------|------------|
| <input type="checkbox"/> 希望しない      | 108 (61.0) |
| <input type="checkbox"/> 車中泊を希望     | 30 (16.9)  |
| <input type="checkbox"/> 持参のテント泊を希望 | 12 (6.8)   |
| <input type="checkbox"/> その他        | 27 (15.3)  |

- ・この設問は、熊本の大地震で話題になった、車中泊、テント泊を希望される方がどれ位いるかを調査する設問でしたが、「居住スペース以外の場所を希望」という質問の仕方が分かりづらい表現でした。回答の「希望しない」ということは、「居住スペースを希望する」と捉えたいと考えておりましたが、学校の校庭に車を止めて止まれるのかとか、テントを設置していいのかなど、誤解を生じる質問となってしまいました。
- ・実際には、小学校の校庭への車の乗り入れは、緊急性のある場合以外は禁止であり、テントも張ることは出来ません。ただし、その緊急性や困窮の度合いを「避難所運営委員会」で検討し、会長の承認が得られた場合は許可することになります。
- ・家屋の損壊は免れ、在宅避難するが、ライフラインの遮断により、支援物資が必要な場合は、まず「総合受付」「避難者受付」を済ませ、支援を受けることは可能です。また、自宅の敷地内に、車中泊やテント泊をした場合も同様です。

## 7. 実際に避難する時は、ペットを持ち込む可能性がありますか？

- |                             |            |
|-----------------------------|------------|
| <input type="checkbox"/> 無い | 194 (84.7) |
| <input type="checkbox"/> 有る | 35 (15.3)  |
| ペット数                        | 44匹        |

- ・家庭で飼われているペットについては、あくまでも飼主の責任で世話を頂くこととなります。避難所に同伴する場合は、古ヶ崎小学校では、中庭（南校舎と北校舎の間）にある「飼育小屋」と校庭にある「体育倉庫」を割り当てます。（居住スペースへの持ち込み同伴は禁止です）
- ・ペットを同伴する場合は、必ずペット用ゲージに入れたり、アンカー（ひも）でつないでいることが条件です。また、ペットフードも持参して頂く事になりますので、非常袋にはペットフードを3日分は用意しておいてください。
- ・今回のアンケートで、ペットの種類と数は以下のとおりです。  
①犬15、②猫16、③不明12、④亀1、⑤自宅のフェンスへ猫3  
不明とあるのは、設問でペットの種類を聞く所を「ペット名」としていたためです。
- ・ペットの居住スペースには限りがありますので、被災状況にもよりますが、⑤のように非常時にはペットをどうするか、事前にご家族で話し合っておいてください。

## 8・収容避難所として、事前に準備しておいた方が良いと思われるもの（ルールを含む）を教えてください。

- 段ボール、毛布、食料、飲料水、簡易トイレ、連絡用ボード、消毒液、マスク、新聞紙やタオル等応用の利くもの、プライバシーを守るつい立や照明器具、発電機、ラジオ等。 11
- 名簿・名札等は事前に配布して、避難袋の中に保管して、提出の際スムーズに手続きできるようにした方が良いでしょう。用紙を持っていない人だけ配布・記入してもらった方が早いのではないのでしょうか？（筆記用具も） 7
- 受付や点呼のルール（毎日避難者の、居るか・居ないかのチェック方法）
- 体育館で入り口の一方通行、通路の確保、受付人数の増員、段ボールの増量。
- 救護者も想定して、救護所に誘導の必要はないか？
- トイレ等、子供たちや女の人の防犯を考えて、被害にあわないようにしてほしい。
- お子さんのいる家庭や老人だけの家庭は、離してあげたほうがいいらしいです。
- どの季節に起きるか分からないから、特に冬はカイロの用意が必要。
- 避難所「公式SNSアカウント」で、各所との連絡の「見える化」
- △待ち時間のための足腰の悪い高齢者用の折りたたみ椅子が必要。 5
- △町会別や受付など、高い位置に表示して分かりやすくしてほしい。 2
- △体育館の使用可否を確認した後に、人を集めたほうが良い。（季節や天候によっては、体力が奪われ、高齢者には厳しい状況になると思われる）
- △町会ごとに、おおよそのボランティアを募っておき、事前に役割等についても周知しておいたほうが良いのでは？。
- △この質問よりも、参加者の家庭で、どれくらい非常水や非常食を準備しているかの質問のほうが、実態を把握するうえで良かったと思うので、その調査が必要。
- ・古ヶ崎小学校には「防災倉庫」があり、非常食や簡易トイレなど、避難所になった場合に使用する様々な備品が保管されています。（古ヶ崎小ホームページの古ヶ崎小避難所マニュアル参照）  
また、「避難所開設箱」には、避難所開設のための消耗品や掲示物、避難者カードや避難者の心得など、様々なプリント類も、ある程度の枚数が用意されています。（古ヶ崎小ホームページの避難所運営に係る各班必修資料集参照）
- ・避難する場合は、各自が非常袋に非常水や非常食（家庭には3日分備蓄し、内1日分）の他に、ペット用非常食、服用している薬や医薬品、筆記用具やノート類も入れておき、毛布や冬場の寒さ対策用品なども一緒に持って避難することになります。また、アンケートにもありましたように、今後、受付の短縮化を図るために、事前に避難者カードや名札が配布された場合は、記入済みのものを非常袋に入れておくことが必要になります。

## 9. その他、感想・気づいたこと、今後の避難所開設準備委員会に期待することなどを教えてください。

- 本日はありがとうございました。一步一步改善訓練が必要と思います。 12
- 参加して良かったと思う。次回も重ねて続けて欲しい。 2
- 今日の日に至るまで、準備など知らない所で進めて頂いていた事に、安心しました。
- とてもではないが、町中の人々が避難所に入りきることは、難しいということを感じた。
- このたびの訓練に参加して、大変有意義だったと思っています。特に、災害時には幼児や小さな子供達も、今日より大勢避難してくると思います。その対策の準備も大変

だと思えます。町会役員の皆様方、本当にお世話・ご指導くださり、ありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。

- △高齢者が多いので、音量は大きく、文字はわかりやすく、大きくして欲しい。 6
- △パニックが起きないように、連絡等（スリッパや筆記用具などの持ち物）をこまめに回覧して欲しい。（一人一人の意識付けなど） 3
- △第1回目だし、事前の詳細説明はもっと必要だったと思えます。 3
- △名簿の書き方の指示などを統一して欲しい。わかりずらかった。 3
- △訓練に参加した人は希望者のみですので、本当に災害に見舞われた時の人数を想定した準備をお願いします。 3
- △回覧板の中で、筆記具持参と書いてあれば良かった。 2
- △プリント類はセットにして先に配っていた方が早いです。 2
- △出口の階段が危ないので、注意する人を立て、少しずつ退場させた方がいい。 2
- △指示系統の明確化（ボランティアが何をやったら良いかが分からなかった）役員や責任者の視覚化。 2
- △実際に災害が起きた時は、受付が混乱するはず。町会ごとのテーブルを用意し、名簿も事前に用意する等が必要。 2
- △今日の訓練参加者だけでも、体育館がいっぱいになった。定員オーバーが心配。 2
- △災害後すぐのボランティアに、ビブスのようなものを用意した方がいい。（暑い時には汗でだめになってしまう）
- △本当の避難の時、もっとたくさん的人数が集まると思えます。場所の割り振りをきちんとした方がいいと思いました。
- △松戸市内でも、もっと前から避難訓練をしている所があるので、他の地域の方からアドバイスしてもらったり、その地域の訓練に参加してみたりすることも、勉強になると思えます。
- △幼児・赤ちゃん連れの場合、何の配慮もなく避難生活が出来るか不安。老人や単身者からの苦情は絶対に出ます。
- △乳幼児や妊婦などは、車いすや老人などと共に、一息つく場所はないのでしょうか？
- △ご近所で、避難に向けた小グループを作り、共助できる体制を作っておくことも大切では？
- △体育館が使用できない場合に、集合してから待っている時間がとても無駄に感じるので、人を集める前に、体育館が使用できるか否か、出来ない場合の次のアクションフォローをどうするかを再考する必要があると思えます。（町会ごとに避難ルールを決める）
- △運営にはもっと若い人が必要だと思いました。
- △体育館に入る時に時間がかかり、天気の良い日は大変なので、先に入ってから町会ごとに振り分けた方がいいと思えます。
- △平時面識のない人が多いので、出来るだけ隣同士で会話が必要と思われる。
- △開場するのは何分後、暖房の準備は？
- △ボランティアの役割の説明と共に、町会に各役割ごとのボランティアが必要。
- △それぞれ役割がありますが、明確になっていなかったように思えます。
- △雨や雪など、天気が悪い場合はどうなるのか不安。
- △何回もやることに意義がある。各町会で常備活動班（班員・各組長・部長等）明確しておく。当番制なので、毎年部長・組長さんに任務を周知・徹底しておくことが必要。
- △印刷物は、項目ごとにペーパーの色替え。実際に全員避難の時の混雑はどうなるのか、町会単位での訓練が必要。

このように、たくさんのご意見いただき、あらためて感謝申し上げます。これらのご意見すべてにお答えすることは難しいかと思えますが、様々な条件・想定を考えて、次回にはより町民の皆様に安全に、安心して避難して頂けるよう、古ヶ崎小学校区避難所開設準備委員会一同協力して準備を進めてまいりたいと考えておりますので、今後ともご支援・ご協力のほどよろしくお願い致します。

※避難所に関する様々な問題や課題については、自分で判断せずに、必ず役員に確認してください。最終決定は、あくまでも自治会や避難所運営委員長が判断し決定します！

合  
い  
言  
葉  
は

**自助・共助をめざした地域防災のために、  
町民一人一人が最善の行動をとり、  
町民の協力で、混乱と被害を最小限にしましょう！  
～避難者は、お客様ではなく、相互に助け合う支援者であり、  
人のために働くボランティア・・・の精神で～**